

会報



沢山川堤防天端の未舗装箇所

写真は沢山川を堤防から撮影したものです。写真のように、沢山川には堤防の天端が未舗装の箇所があります。普段は穏やかに流れる沢山川ですが、台風やゲリラ豪雨により増水し越水した場合、現在のように堤防の天端が未舗装のままでは、堤防が水圧に耐えられず決壊する恐れがあります。天端の舗装をして堤防を強化することで、越水による堤防の決壊までの時間を稼ぐ効果があります。

昨年10月の長野県への要望の際にも、堤防天端の舗装に関して要望をしました。最優先は漏水対策ですが、堤防の舗装についても必要性を感じているので検討していきたいとのことでした。

今後も、期成同盟会は地道に要望活動を続けていきますが、災害はいつ起きるか分かりません。地元住民の皆様も、日頃から気象情報等の確認や、いざというときの避難計画を立てておく等、普段から災害に対する備えをしておくことが重要です。

県庁へ要望書を提出

平成30年10月31日、県庁へ沢山川水害対策に関する要望書を提出しました。期成同盟会顧問荒井武志県議にご同行いただき、期成同盟会の正副会長ならびに理事が、主に以下の三点について県の長谷川建設部長へ要望・陳情しました。

- 一、 台風による被害調査の早期実施と対応、堤防天端の舗装等による、粘り強い堤防の整備
- 二、 浚渫等による適正な維持管理
- 三、 千曲川余裕高までの特殊堤等の整備

長谷川建設部長からは、「これまでの漏水対策は昨年度で終了したが、昨年十月の台風で新たに確認された箇所を現在調査しており、原因を究明した上で対策をしていきたい」と回答いただきました。

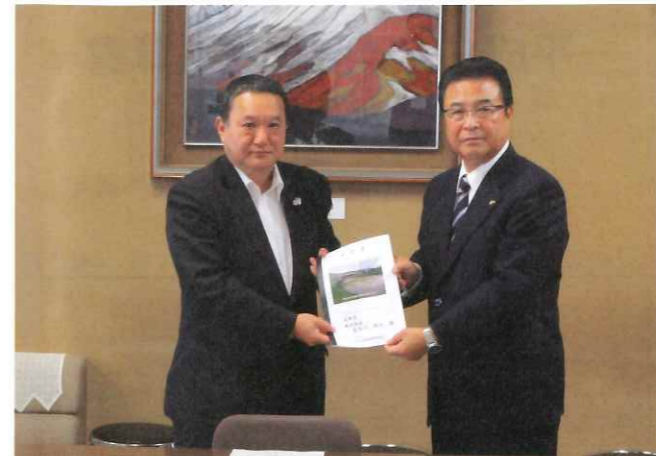
浚渫作業は、「毎年地元の方にも河川の維持管理に協力していただき感謝している、今後も地元の要望等をもとに緊急性の高い箇所から実施していく」と回答をいただきました。

特殊堤等の整備としては、「長野県内の河川堤防の整備率が四割に満たない状況で

あるため、他の整備が必要な場所も踏まえながら検討していきたい」とのことでした。

その後、期成同盟会役員からも長谷川建設部長へ直接地元の声を届けることができ、浚渫作業について早急の対応を約束していただく等、意義のある要望活動となりました。

今年度は幸い千曲市内で台風による大きな被害は発生しませんでした。いつ大きな自然災害が起こるかはわかりません。地元住民が普段から安心安全に過ごすことができるよう、今後も要望活動を続けてまいります。



長野県への陳情
(長谷川建設部長へ要望書を手渡し)

沢山川水害対策に 関する勉強会報告

平成30年8月1日、千曲建設事務所において、沢山川水害対策に関する勉強会を行いました。

勉強会には期成同盟会の役員をはじめとする東部地区の住民に参加していただき、沢山川を管理する長野県職員と、沢山川に流れる支川を管理する市職員より説明をしていただきました。

県職員からは、沢山川でこれまでにやってきた漏水対策工事に関する説明や、今後の工事予定等について説明していただきました。また、市職員からは沢山川に流れる支川に設置している排水機場の概要について説明していただきました。

その後の質疑応答では、参加者からも質問や要望が出て、沢山川の理解がより深まる勉強会となりました。



勉強会の様子

平成30年度 事業計画及び予算

平成30年度事業計画

平成2年、50年に一度の大雨にも耐える設計で、河川改修された沢山川ですが、平成11年に、生萱地区で水害が発生しました。また、近年は異常気象により全国各地での雨による大きな被害が起きています。昨年10月には台風21号が列島各地で大きな被害をもたらした、千曲市内でも倒木や川の増水などが見られました。沢山川においても最大で6m29cmまで水位が上がり、数か所で新たな漏水と思われる現象があり、改めて水害対策の促進が大変重要だと認識しました。当地区に於いても過去の様な水害が繰り返されることなく、住民の皆さんが安心・安全に生活するためにも次の事業を行ってまいります。

- 1. 長野県へ昨年10月の台風21号被害に関する調査の早期実施と対応、堤防天端の舗装強化等による粘り強い堤防の整備、千曲川余裕高までの特殊堤等の整備および計画的な河床の浚渫について要望を行う。
2. 沢山川流域住民へ、会報等で活動状況の提供を行う。
3. その他（勉強会・研修会の開催）

平成30年度収支予算

Table with 2 columns: 項目, 金額. 収入合計 181,900円, 支出合計 181,900円, 差引 0円

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. 収入の部 (単位:円 △印:減)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. 支出の部 (単位:円 △印:減)

平成29年度 事業報告及び決算報告 (平成29年4月1日~平成30年3月31日)

平成29年度事業報告

- 平成29年
●7月12日 第16回定期総会
1. 平成28年度事業報告及び収支決算について
2. 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
3. 役員改選(案)について
4. 負担金のお願い(案)について
5. 要望書(案)について
●7月31日 沢山川水害対策に関する勉強会
●10月5日 長野県へ要望書の提出、浅川ダム視察研修
平成30年
●2月1日 会報第13号の発行

平成29年度収支決算書

Table with 2 columns: 項目, 金額. 収入合計 200,480円, 支出合計 148,875円, 差引残高 51,605円 (次年度へ繰越)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 備考. 収入の部 (単位:円 △印:減)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減, 備考. 支出の部 (単位:円 △印:減)

関係帳簿及び証拠書類を詳細にわたり監査したところ正確であることを認めます。

平成30年4月26日
監事 島田 忠明
監事 中村 昇

河川と共存する地域を目指して



沢山川水害対策促進期成同盟会
会長 岡田 昭雄

日頃は、当期成同盟会にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。さて近年は、世界規模で大きな自然災害が発生しています。四季折々で気候の変化が見られる日本ではありますが、昨年は西日本の各地で河川が氾濫し、「平成最悪の水害」と呼ばれた「平成30年7月豪雨」など、災害の多い年でありました。千曲市では、昨年9月に台風24号が日本列島を直撃した際に、川の増水による道路の冠水や、地盤が緩んだことによる倒木などが見られました。このように、千曲市内の河川においても、その対策が課題となっております。沢山川の水害対策としては、一昨年の台風で発生した漏水と思われる現象について、引き続き原因調査をしていただき、同じ現象を繰り返さないための対策や、越水による堤防の決壊を遅らせるために、堤防天端の舗装等による堤防強化を要望してまいります。また、定期的な浚渫等による適正な維持管理、更に、千曲川余裕高までの特殊堤等の整備を要望してまいります。結び、沢山川関係機関に要望・陳情を重ね、地域住民の不安が解消されるよう努めてまいりますので、関係各位並びに区民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます、挨拶いたします。



千曲川河川事務所による護岸補修工事の様子

東林坊川は、五十里川の中流域（丸善食品付近）で分流し、千曲川に自然流下する延長2.4kmの準用河川です。改修して流下能力を拡大することにより、五十里川の中流域で雨水を千曲川にショートカットすることができ、一級河川沢山川への集中と五十里川の中下流域での水害防止にも役立つものと考えています。平成21年度から事業を着手し、平成27年度までに下流域全長700m（一期）の河川改修工事が完了、現在は上流狭あい箇所を整備計画（二期）を策定し、計画的に工事を実施しております。また、東林坊川下流では千曲川河川事務所により、約150mの護岸等補修工事をおこなっております。

東林坊川の改修工事情報

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 所属, 備考. 平成30年度 沢山川水害対策促進期成同盟会役員名簿 (敬称略)

事務局 千曲市建設部建設課事業推進係内